



CONTENTS

- * シンポジウム
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
(女子大学院生による出前講義)
- * 起業家応援セミナー
- * カモミール月暦
- * 保育園たより



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

シンポジウム



野田 聖子 氏



柴橋 正直 氏

9月27日（金）、シンポジウム「人口減少時代における新たな社会デザインの構築に向けてー男女共同参画の視点からー」（岐阜大学創立70周年記念事業・文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型））を岐阜大学講堂にて開催しました。

第1部では、野田聖子衆議院議員（元女性活躍担当大臣）および柴橋正直岐阜市長が講演しました。野田議員は、意思決定の場に女性が少ないことが日常生活や法律に及ぼす影響について具体例を挙げながら分かりやすく説明したほか、男女共同参画やダイバーシティの重要性について強調しました。

柴橋市長は、「岐阜市の政策・課題」をテーマに、人口減少対策として子育て支援や観光振興、そして都市整備構想について各種データを用いながら岐阜市の活性化に向けた取り組みについて紹介しました。

第2部では、柴橋市長に加えて野々垣孝彦アピ株式会社代表取締役社長、原永子岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター長、速水悟岐阜大学工学部教授、落合絵美岐阜大学男女共同参画推進室特任助教が登壇し、トークセッションをおこないました。トークセッションでは、人口減少が地域経済や地域社会に与える影響、限られた人材でよりよいサービスを提供するための職場環境の整備やテクノロジーの活用など、企業、行政、大学で活躍する登壇者が多角的な視点から「新たな社会デザイン」について議論しました。

二百人を超える参加者からは、「男女共同参画が『女性の問題』ではなく『社会全体の問題』であることが理解できた」等の感想が寄せられるなど、充実した内容のシンポジウムとなりました。



カモミール月暦（室長からのメッセージ）

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

岐阜市「こどもファースト」の取り組み

1 頁に実施報告を掲載したシンポジウム「人口減少時代における新たな社会デザインの構築に向けてー男女共同参画の視点からー」のなかから、今回はこれまでの「カモミール月暦」で話題とする機会のなかった岐阜市の取り組みについてご紹介しましょう。

柴橋正直 岐阜市長の講演「岐阜市の政策・課題」において、人口減少社会における対策として、次の5つの政策ベクトルが示されました。

- | | | |
|------------|--------------|-------------------|
| ① こどもファースト | ② 観光振興 | ③ 中心市街地活性化&都市基盤整備 |
| ④ 広域連携 | ⑤ シティプロモーション | |

男女共同参画推進の観点から、今号では「こどもファースト」の取り組みに絞ってご紹介します。岐阜市のおもな取り組みは次のとおりです。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| (1) 幼児教育の推進 | (2) 保育に関わる安全安心 |
| (3) 登下校・通学路の安全・安心 | (4) 放課後児童クラブの充実 |
| (5) 子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」の進化 | |
| (6) 男性の育児参画支援 | (7) 女性の活躍推進 |

「病児・病後児保育事業 送迎サービス」は、保育施設にいる子どもが体調不良となり保護者による迎えが困難な場合に、病児・病後児保育施設の看護師が、タクシーで保育施設に子どもを迎えに行き預かるという制度です。また、登下校時、GPS端末を携帯する子どもの居場所を、スマホアプリを通じて確認できる見守りサービスに加入契約している保護者に対しての補助事業もおこなわれています。

全国で児童虐待による痛ましい事件が相次いでいることを受け、子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」（2016年設置）<https://www.city.gifu.lg.jp/18928.htm> の機能の進化も期待されているところです。

男女共同参画推進の取り組みとしては、男性の主体的な家事・育児参画を促す「ぎふし共育都市プロジェクト」<https://www.city.gifu.lg.jp/35854.htm> が今年度始動しました。具体的に次のようなプログラムが展開されています。

- 「パパ大学～子育て応援講座～」
父親が子どもの成長に合わせた子育ての基礎を学ぶことができる講座を開催
- 「ko-to-trip ～父子旅行～」
ふだん一緒に過ごすことの少ない父と子の日帰り旅行を実施
- 「岐父新聞」
父親の主体的な子育てを支援する特集記事を掲載
- 「共育企業」「共育ネットワーク」
男性の育児参画を応援する企業を認定し、合同セミナーを開催

他にも、家事・育児・介護などの多くを女性が担っている現状を踏まえ、男性の主体的な参画を趣旨とする「家事メンセセミナー」も開催されています。具体的には、共働き夫婦、父子（祖父と孫）を対象とする料理教室や、プロの講師から洗濯・掃除などを学ぶ教室などです。

ワーク・ライフ・バランスの取り組みなどを積極的に展開し、顕著な功績のあった事業者を表彰する「男女共同参画優良事業者表彰」も、2003年度から実施されており、これまで岐阜市の39事業者が表彰されています。岐阜大学も、出産・育児等により研究時間の確保が困難な女性研究者の実験や講義の補助をおこなう研究補助員を配置するとともに、学内に保育園を設置し子育てとの両立支援をおこなっていること、また、女子大学院生が県内の小中高校に赴き講義をすることで女性研究者の裾野拡大のために取り組んでいること、さらに、職員・学生のために各学部にも男女1名ずつの相談窓口を設置し、ハラスメント防止にも取り組んでいることが評価され、「平成25年度岐阜市男女共同参画優良事業者」として表彰されています。<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/news/170.html>

今回は、岐阜市の「こどもファースト」の取り組みの一部をご紹介しました。柴橋市長の提唱する「こどもファースト」は、子どもだけを大切にするという意味ではもちろんありません。人口減少時代の諸課題を克服するうえで、子どもを尊重し、子育てをしやすい社会を実現することが、世代や性差や国籍や障害の有無を問わず、多くの人々にとって幸せな社会の実現につながることを訴えられているのだと思います。岐阜市「こどもファースト」の理念と実践は、職業生活における女性の活躍を推進することが、延いては男性の働きやすさや人々の幸福の実現につながることに密接に関連しているといえるでしょう。

サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)

9月30日、岐阜大学において「長良高校1年生 岐阜大学見学会」を開催しました。本事業は、長良高校1年生が12月までに文理選択を行う際の参考になるようにとの高校の依頼を受けて、2011年より毎年この時期に実施しています。

この日は、入試課による岐阜大学の概要説明のあと、3名の女子大学院生が大学生活、研究内容、進路選択の経験などについて、高校1年生(362名)を前に写真などを用いながら30分ずつ講義しました。高校生からは、「大学(院)について理解が深まった」「理系分野への興味が高まった」「将来のために今を大切にしたいと思った」「受験勉強や進路選択の話が参考になった」などの感想が寄せられました。女子大学院生による出前講義は、高校生がこれからの高校生活そしてその先にある進路選択を考えるうえで大いに参考になったようです。



自然科学技術研究科
生物生産環境科学専攻
藤田 真由 さん



自然科学技術研究科
物質・ものづくり工学専攻
榊原 叶子 さん



自然科学技術研究科
生産環境科学専攻
松本 昇子 さん



男女共同参画推進室では、2019年度の出前講義実施校(岐阜県内)を募集中です(予定校数に達し次第、受付終了)。男女共同参画推進室WEBの「出前講義」<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/activity/03.html>をご確認のうえ、お気軽にお問合せください。

岐阜大学Tongaliプロジェクト 起業家応援セミナー 参加報告

8月18日（日）、じゅうろくてつめいギャラリー（岐阜市）にて岐阜大学研究推進・社会連携機構 産官学連携推進本部主催「起業家応援セミナー」が開催されました。

セミナーでは、冒頭に上原雅行准教授が東海発起業家育成プログラム「Tongaliプロジェクト」について説明したあと、3名の女性起業家が起業に至った経緯や現在の事業内容などについてそれぞれ語りました。

オーガニック食品の輸入・販売業を営む荻野みどりさん（BROWN SUGAR 1 ST.代表取締役）は、震災やご自身の出産・育児を契機に「我が子に食べさせたい」と思えるお菓子の販売事業を資金20万円で起業し、現在では食品メーカーへと事業を拡大させました。講演では、私たちの“当たり前”や“常識”の背景について深く思考することの積み重ねが、ひいては新たなニーズの発見につながると述べたほか、「私たちが生きる社会」について深く知ることの大切さを強調しました。

2人目の講演者である矢上清乃さん（学び舎mom代表取締役）は、両親から「女の子だから」と弟と比べて幼少時代から進学をはじめ様々な制限を受けてきたこと、結婚後に念願の米国留学を果たした際は「夫を置いて留学するなんて」と周囲からネガティブな反応を受けたのに対して米国では「勉強熱心な妻がいてあなたの夫は幸せだ」と言われたこと、MBA取得後に夫の勤務する愛知県で就職活動をしたものの当時の地方都市には条件に見合う仕事が見つからず東京で就職せざるを得なかったこと、そして出産後に直面した重い育児負担・不安に苦しんだ経験から女性のワークライフバランスを支援する事業を立ち上げた経緯などについて語りました。

最後に登壇した若手起業家の柘植千佳さん（Lawin代表取締役）も含めて、3名の女性起業家たちはご自身の経験や生活に根差した疑問やニーズをくみ取り、強い信念を持って起業し、次世代によりよい社会を引き継ぐために精力的に事業を展開されていることが伝わってくる充実した内容のセミナーでした。（落合絵美）

保育園たより



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3397 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。